

2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 8886 URL https://www.woodfriends.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 嘉浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 中島 崇 TEL 052-249-3504  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2025年5月期第1四半期の連結業績（2024年6月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	4,813	△46.5	△561	—	△623	—	△665	—
2024年5月期第1四半期	9,004	△16.1	△388	—	△488	—	△532	—

(注) 包括利益 2025年5月期第1四半期 △652百万円 (—%) 2024年5月期第1四半期 △518百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	△456.74	—
2024年5月期第1四半期	△365.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期第1四半期	23,055	4,380	16.5	2,604.60
2024年5月期	23,823	5,032	18.7	3,061.66

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 3,797百万円 2024年5月期 4,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—				
2025年5月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,836	△23.7	△60	—	△226	—	△241	—	△165.28
通期	30,244	△9.0	440	—	233	—	28	—	19.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期1Q	1,480,000株	2024年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	21,917株	2024年5月期	21,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年5月期1Q	1,458,083株	2024年5月期1Q	1,458,083株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(自2024年6月1日至2024年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

愛知県の分譲住宅市場は、消費者の低調な購買意欲等に起因し、分譲住宅の着工戸数は緩やかな減少トレンドで推移し、市場における完成在庫の水準は高止まりの状況が継続しております。

前連結会計年度より住宅事業の基本方針を「総量」から「高付加価値」へ転換し、同事業における経営資源の配分を見直すとともに、資本効率の向上を実現すべく事業構造の改革に着手しました。しかし、当第1四半期連結累計期間においては、その改革途上であり、収益性の回復については第3四半期連結会計期間以降となる見込みです。これまで住宅事業の生産活動に直接的な影響を受けておりました建材事業では、グループ内受注に依存していた収益構造を見直し、外部販売比率を高めながら稼働率の確保に努めましたが、未だ本格的な回復に至っておりません。

余暇事業では、HOTEL WOOD 高山(岐阜県高山市)でのインバウンド需要の回復により利用者が前年比で増加する等、業績は安定して推移しました。

都市事業では、前連結会計年度に引き続き、ナーシングホームの開発を進めました。2024年5月に竣工した1棟目は、不動産特定共同事業の「信長ファンド」による投資ファンド組成を進め、2棟目は2024年10月竣工に向けて建築工事を進めております。

「木質資源カスケード事業」の中核を担う製材工場については、設備調整を経て事務所棟(木造4階建て)を自社施工し、本稼働に向けた準備が整いました。第2四半期連結会計期間より同工場で国産材の供給を開始する予定です。これにより、国産材の生産(製材・集成材・プレカット)から商品(建材・住宅・中規模木造)までを一貫して行う体制が整います。当社グループとして、国産材を使用することのメリットを訴求し、差別性のある商品を積極的に供給したいと考えております。

当社は2024年6月1日を効力発生日として、吸収分割の方法により当社が営む住宅事業を当社の100%子会社である株式会社ウッドコンストラクションに承継し、持株会社体制へ移行しました。持株会社として住宅事業をはじめとした各事業への適切な経営資源配分を行うとともに、グループ全体の更なるガバナンス強化に取り組みます。持株会社体制への移行に伴い、報告セグメントの各グループ会社の営業費用に経営指導料を計上しております。

なお、本分割に伴う会計処理については、共通支配下の取引として処理しており、これによる経営成績への影響はありません。

<連結業績>

当社グループの主たる事業である住宅事業での厳しい市場環境の影響を受け、分譲住宅販売戸数及び売上高は前年同期と比較して著しく減少しました。これにより営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	親会社株主に帰属する四半期純損失(△)
当期実績	4,813百万円	△561百万円	△623百万円	△665百万円
前年同期比	46.5%減	—	—	—

(注) 営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

<販売実績>

	戸建住宅	集合住宅	合計
当期実績	95戸	—	95戸
前年同期比	51.3%減	—	57.8%減

<セグメント実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	4,104百万円	△548百万円	住宅販売戸数の著しい減少等によりセグメント損失を計上
前年同期比	48.0%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	692百万円	119百万円	当連結会計年度より経営指導料を計上し、セグメント利益が減少
前年同期比	0.2%減	24.4%減	

c 都市事業

収益不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	87百万円	△17百万円	収益物件の販売が無かったため、セグメント損失を計上
前年同期比	79.7%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

(2) 財政状態の概況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、長期有利子負債の返済による現金及び預金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して768百万円減少し、23,055百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、長期有利子負債の返済等により、前連結会計年度末と比較して116百万円減少し、18,674百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較して652百万円減少し、4,380百万円となりました。

(3) 今後の見通し

2024年7月11日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,086,147	1,541,726
完成工事未収入金	32,937	28,564
売掛金	467,999	563,385
販売用不動産	5,243,851	4,698,745
仕掛販売用不動産	2,738,377	3,217,552
商品及び製品	374,933	414,051
未成工事支出金	765,516	1,162,437
仕掛品	452,718	415,424
原材料及び貯蔵品	675,665	764,528
その他	493,840	511,137
貸倒引当金	△2,960	△2,960
流動資産合計	14,329,028	13,314,593
固定資産		
有形固定資産	8,631,716	8,859,501
無形固定資産	340,300	343,651
投資その他の資産	522,915	537,258
固定資産合計	9,494,932	9,740,411
資産合計	23,823,960	23,055,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	919,398	816,372
買掛金	549,501	606,617
1年内償還予定の社債	391,200	659,500
短期借入金	4,719,920	5,819,500
1年内返済予定の長期借入金	1,644,088	1,574,599
未払法人税等	107,705	26,528
賞与引当金	132,543	75,552
完成工事補償引当金	76,740	72,005
その他	1,176,809	737,343
流動負債合計	9,717,906	10,388,020
固定負債		
社債	977,000	580,000
長期借入金	6,542,912	6,277,872
役員退職慰労引当金	159,774	162,138
退職給付に係る負債	5,425	5,364
その他	1,388,174	1,261,576
固定負債合計	9,073,285	8,286,950
負債合計	18,791,192	18,674,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	3,939,892	3,273,933
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	4,461,779	3,795,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,380	1,896
その他の包括利益累計額合計	2,380	1,896
非支配株主持分	568,608	582,317
純資産合計	5,032,767	4,380,033
負債純資産合計	23,823,960	23,055,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
売上高	9,004,573	4,813,130
売上原価	8,435,754	4,445,983
売上総利益	568,818	367,147
販売費及び一般管理費	957,389	928,465
営業損失(△)	△388,570	△561,317
営業外収益		
受取利息	427	416
受取手数料	2,640	201
受取保険金	4,741	475
違約金収入	6,300	600
償却債権取立益	10,743	-
その他	2,023	2,084
営業外収益合計	26,876	3,778
営業外費用		
支払利息	102,100	53,705
その他	24,570	12,404
営業外費用合計	126,670	66,110
経常損失(△)	△488,365	△623,649
特別損失		
固定資産除却損	7,089	0
特別損失合計	7,089	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△495,455	△623,649
法人税等	24,301	28,600
四半期純損失(△)	△519,757	△652,249
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,789	13,709
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△532,546	△665,959



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
四半期純損失(△)	△519,757	△652,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	774	△484
その他の包括利益合計	774	△484
四半期包括利益	△518,982	△652,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△531,772	△666,443
非支配株主に係る四半期包括利益	12,789	13,709

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	134,800千円	154,557千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,893,052	693,445	417,469	9,003,967	605	9,004,573	—	9,004,573
セグメント間 の内部売上又 は振替高	—	—	14,532	14,532	—	14,532	△14,532	—
計	7,893,052	693,445	432,001	9,018,499	605	9,019,105	△14,532	9,004,573
セグメント利益 又は損失(△)	△393,746	158,019	33,194	△202,533	167	△202,365	△186,204	△388,570

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他貸貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△186,204千円には、セグメント間取引消去△581千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,623千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,049,688	692,196	71,245	4,813,130	—	4,813,130	—	4,813,130
セグメント間 の内部売上又 は振替高	55,196	200	16,507	71,904	—	71,904	△71,904	—
計	4,104,885	692,397	87,752	4,885,035	—	4,885,035	△71,904	4,813,130
セグメント利益 又は損失(△)	△548,464	119,397	△17,551	△446,617	—	△446,617	△114,699	△561,317

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,699千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業報告セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は2024年1月11日開催の取締役会での決議に基づき、2024年6月1日を効力発生日として、当社が営む住宅事業を当社の100%子会社である株式会社ウッドコンストラクションに承継させる吸収分割を実施いたしました。

なお、当該吸収分割の概要は以下のとおりであります。

1 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及び当該事業の内容

事業の名称…住宅事業

事業の内容…建築物の企画設計、施工及び販売

(2) 企業結合日

2024年6月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収分割会社、株式会社ウッドコンストラクションを吸収分割承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社ウッドコンストラクション

(5) 企業結合の目的

現況での当社グループの対処すべき課題としては、少子高齢化、人口減などの社会変化に伴い住宅市場の縮小が現実化しているなか、既存事業である住宅事業の競争力と独自性を強化し、コスト、品質及びサービスにおいてさらに商品性を磨くことが必要であると考えております。

当社グループでは長期的な観点で利益貢献及び環境貢献を目指す大型製材工場投資に着手しており、木質資源を多様に利用する事業モデルの構築を進めております。さらに、中長期的には住宅事業に接する事業である「非住宅木造」、「都市木造」等の建設事業を伸長させていく方針です。

このような状況を鑑みた結果、当社グループは持株会社体制に移行することにより、社会環境、経営環境等の変化に機動的に対応できる経営体制を構築することが必要不可欠であるとの判断に至りました。

持株会社を中核として更なるガバナンスの強化、事業の採算性及び事業責任の明確化によりグループ各社の自立と連携を図りながら、企業価値を向上させることを目的としております。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。